

## 第2章 令和3年度 研究開発の内容

### 1. 教育課程の研究と学校設定科目の取組について

#### (1) 教育課程の研究と学校設定科目の取組

##### ア 教育課程研究の概要について (P.15 参照)

スーパー・グローバル・ハイスクール事業（以下「SGH事業」）の成果や「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」の目的を踏まえ、課題研究や各教科、体験的な学習を有機的に関連させることにより、知・徳・体の調和のとれた、自主的、創造的でグローバルな視野をもった次代のリーダーの育成を目指す。

これまでも実施してきた地域についての学びを、地域との協働による持続的な課題研究という形でより深化・発展させるカリキュラムを編成する。このことにより、各教科の役割を明確にして体系化し、一層の有機的な連携を図ることで授業の改善を実現すると共に、生徒に学習と自己の生活を繋げ、自ら課題を発見し解決しようとする態度や考え方を育み、内発的で深い学びの実現を図る。また、これらの学習の成果を対外的に表現し共有させることで、適切なフィードバックを得るとともに、学習から得たものを自らの能力として確実に定着させることも期待できる。

さらに、「SGH事業」では取組が少なかった自然科学分野のテーマについても、Society5.0の時代を見据えた地域課題への取組の一環として積極的に扱うことができ、生徒の興味・関心の幅も広がることを期待できる。

地域についての学習により、次代を担う地域リーダーとしての資質・能力を向上させることが期待でき、グローバルな視点を身に付け将来地域で活躍しようとする意欲をもったパワフルで創造的な人材育成を図る。

以上の内容を実施できる教育課程の研究を行った。

##### イ 教育課程の概要

本校では、次に挙げる5つの点を基本的な方針として、教育課程を編成している。

- ・学習指導要領の趣旨に従い、多様な教科・科目を設け、生徒が選択して履修できるよう配慮する。
- ・生徒の適性・進路希望等に応じて一人ひとりの個性を伸ばすため、第2学年から文・理の2類型に分け、第3学年には教科・科目を適正に配置したコースを設けて、適切な選択を可能にするるとともに選択の幅を広げる。
- ・文・理の各類型の特色がでるように教科・科目の配列を工夫し、充実した学習活動を展開できるようにする。
- ・各教科・科目の単位数配当にあたっては、他の教科・科目との関連を図りながら十分な学力養成ができるよう考慮する。
- ・「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」に関する事業を推進するために、学校設定教科・科目を設置して、より横断的、探究的な学習活動を生徒一人ひとりが主体的に取り組むことができるように考慮する。

各類型の特徴を、以下に述べることにする。

文型…文系学部（文、経済・経営、社会、法などの各学部）への進学を目指す類型で、国語・地歴公民・英語に重点を置く編成となっている。

3学年において、芸術Ⅲを選択することができる。

理型…理系学部への進学を目指す類型で、数学・理科に重点を置く編成となっている。

3学年において、理Ⅰコースと理Ⅱコースを選択する。

理Ⅰコースは、理学、工学、医（医学科）学、薬学、農学などの各学部を、理Ⅱコー

スは、生活科学、医療系の各学部をそれぞれ目指すコースとなっている。また、講座編成の柔軟性を持たせ生徒の選択の幅を広げることや、授業時数を確保することを目的として、45分7限授業を設定している。

#### ウ 必要となる教育課程の特例等

本校が考える次世代の地域（グローバル）リーダーの資質（問題解決能力、責任力、創造力、企画力、表現力、対話力、情報活用力）を生徒一人ひとりが確実に身に付け、文化や言語の異なる人々と協働できる使命感・実行力をもつ国際人を目指すためには、教育課程の特例措置等が必要となり、具体的には以下の通りとした。

- 多様なコミュニケーション力を育成する教科・科目を設定した。

〈「グローバル国語」〉（第1学年・1単位 全員必履修）

（目的）多様なコミュニケーションをテーマとして「話すこと・聞くこと」の領域に特化した言語活動により、自分と異なる立場にある相手とコミュニケーションを取って、協力しながら問題解決に導く方法を体験的に学ぶことで、課題研究におけるディスカッションやディベート活動、発表や報告などの活動の基盤となる能力を育成する。

〈「グローバル英語」〉（第1学年・1単位 全員必履修）

（目的）CLIL（内容言語統合学習）の手法をもとに、課題研究のテーマについての発表プロジェクトを設定し、そのための資料として社会の中で実際に使われている英語を自ら検索する機会をもつ。

- 生徒自らが現代社会の諸問題を課題として研究し、さらにそれを発展的に探究する教科・科目を設定した。

〈「課題研究」〉（第2学年・2単位 全員必履修 「総合的な探究の時間」で実施）

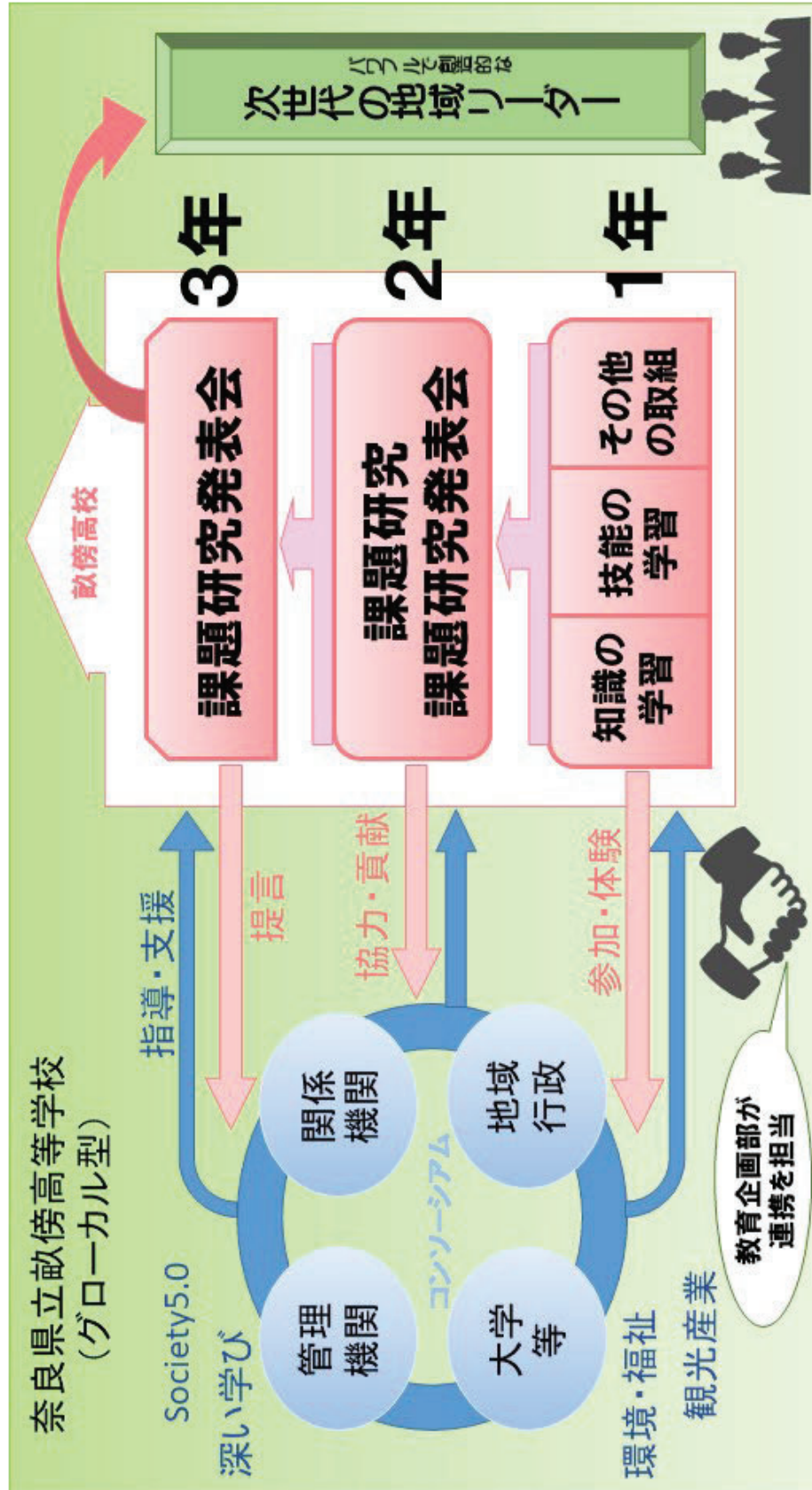
（目的）課題発見や問題解決能力を育成するとともに、大学や関係機関と連携した指導による論文作成や発表に取り組むことで、探究心と自主性及び企画力を育成することを目的とする。自主的な探究活動を実施することにより、主体性、論理的思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養うことを目的とする。

〈「課題研究α」〉（第2学年・1単位 選択履修 「総合的な探究の時間」で実施）

（目的）「課題研究」等で扱った内容をより深く、専門性をもった研究を継続・発展的に行う。また、第2学年末・第3学年に開催する「課題研究発表会」における企画・運営の中心的な人材の育成を図ることにより、多様なコミュニケーション能力や企画力を養い、次世代の地域（グローバル）リーダーとしての自覚と責任感・使命感を培う。

# 奈良発！未来を創造するグローバル・リーダー育成プログラム

～グローバルな視点を身に付け、将来地域で活躍しようとする意欲をもったパワフルで創造的な人材育成に向けて～



令和4年度 入学生徒の教育課程表

奈良県立畝傍高等学校 全日制課程普通科

区分	学科・類型		普通科 - 文型				普通科 - 理型				備考	
	標準	単位数	1	2	3	計	1	2	3			計
									I	II		
各教科	国語	現代の国語	2	2			2					文型は2, 3年次を通して、世界史探究・日本史探究から1科目を選択し、継続履修する。 理型は3年次において、世界史探究・日本史探究・地理探究・政治経済から1科目を選択履修する。 1年次の数学IIは、数学Iを履修した後に履修をする。 理型2年次の数学IIIは、数学IIを履修した後に履修する。 理型I型の3年次は、化学研究と、2年次に選択した物理・生物の研究科目を1科目選択し、計2科目を継続して履修する。 理型II型の3年次は、研究2科目(化学と、2年次に選択した物理・生物のうちいずれかの研究科目)と研究1科目(化学、2年次に選択した物理・生物のいずれかの研究科目)のどちらかを選択する。 1科目を選択した場合は、オの2科目を履修する。 音楽・美術・書道から1科目を継続履修する。
		語文文化	2	3			3					
		論理学	4		1	2			1	2		
		古文	4		2	1			2	1		
		発展	4		4	2			2	1		
	地理歴史	歴史	2	2				2				
		地理	2		2				2			
		世界史探究	3		2	3				3		
	公民	日本史探究	3							3		
		地理探究	3							3		
		政治経済	2		2				2			
	数学	数学I	3	2				2				
		数学II	4	1	3			1	3			
		数学III	3						1	5		
		数学A	2	2				2				
		数学B	2		2				2			
		数学C	2			3			1	3	3	
		数学応用α	5								5	
		数学応用I	2			2					2	
理科	数学応用II	2			2					2		
	物理基礎	2	2				2					
	物理	4						3				
	化学基礎	2	2				2					
	化学	4						3	3			
	生物基礎	2	2				2					
	生物	4										
	地学基礎	2										
	地学	4										
	物理研究	4								エ4		
保健体育	化学研究	4							4	エ4		
	生物研究	4							4	エ4		
芸術	理科発展	2		2						エ4		
	音楽	2										
	美術	2		1								
	書道	2		1								
	音楽II	2										
	美術II	2		2								
	書道II	2										
外国語	音楽III	2										
	書道III	2										
	英語コミュニケーションI	3	3				3					
	英語コミュニケーションII	4		4				4				
	英語コミュニケーションIII	4			4				4			
	論理・表現I	2	2				2					
	論理・表現II	2		2				2				
	論理・表現III	2			2				2			
家庭情報	発展英語	2			2							
	総合英語	2			2							
	グローバル英語	1	1				1					
理数教育	家庭基礎	2	2				2			2		
	情報I	2	2				2			2		
	理数探究	2						2				
総合	教育実践基礎	1			#1	1			#1	1		
	各教科・科目計		33	31	32・33	96・97	33	31	32・33	96・97		
	総合的な探究の時間	課題研究		2		3		2		3		
特別活動	課題研究α			※1		・		※1		・		
	未来への航海図			1		4		1		4		
	各教科・科目等計		33	33・34	33・34	99・100・101	33	33・34	33・34	99・100・101		
合計	ホームルーム活動		1	1	1	3	1	1	1	3		
	合計		34	34・35	34・35	102・103・104	34	34・35	34・35	102・103・104		
(注)			文科系の科目に重点をおいた類型。 アイから各1科目選択する。				理科系の科目に重点をおいた類型。 ウカから各1科目、エから2科目またはエから1科目とオの2科目を選択する。					

令和4年度における1・2・3学年の教育課程表

奈良県立畝傍高等学校 全日制課程普通科

区分	教科	標準	学科・類型	学年	普通	普通	普通	普通	普通	備考	
					共通	文型	理型	文型	理型		
					1	2	2	3	3		
					(9)	(4)	(5)	(4)	(5)		
									I	II	
各教科	国語	現代	現代の国語	2	2						
			現代文	2	3						
		古典	現代文B	4			3	2	3	2	
			演習B	4			4	2	2	2	
			演習	2					2		2
	地理歴史	歴史	総合	2	2						
			世界史A	2		12	12				
		世界史	世界史B	4		73	73		73		
			日本史	4							
		地理	地理A	2		72-13	72-13		13		
			地理B	4							
			演習	3							
	公民	政治・経済	演習	3							
			演習	3							
			演習	3							
	数学	数学	数学I	3	2						
			数学II	4	1	2	3	3			
			数学III	5			2		5		
			数学A	2	2						
			数学B	2		3	1		3	3	
数学演習α			3						3		
数学演習β			2							3	
数学演習γ			3							2	
数学演習I			2					12			
数学演習II			2					12			
理科	物理	物理基礎	2	2							
		物理基礎	4								
		化学基礎	2	2							
		化学基礎	4		3	3					
		生物基礎	2	2							
		生物基礎	4								
		物理演習	4						4		
		化学演習	4					4	4		
保健体育	体育	基礎	2	2	2	2	3	3			
		基礎	2	1	1	1					
		基礎	2								
芸術	音楽	音楽I	2								
		音楽I	2								
		音楽II	2								
		音楽II	2		2						
		音楽III	2								
		音楽III	2					3			
外国語	英語	コミュニケーションI	3	3							
		コミュニケーション英語II	4		4	4					
		コミュニケーション英語III	4				4	4			
		論理・表現I	2	2							
		論理・表現II	4		2	2	2	2			
		英語演習α	2				12				
		英語演習β	2				12		2		
グローバル英語	1	1									
家庭	家庭	基礎	2	2							
情報	情報	情報の科学	2	2							
		情報の科学	2		1	1					
教育	教育	実践	2								
		実践	2								
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	教育実践基礎	1				1※	1※			
		各教科・科目計		33	31	31	32・33	32・33			
		課題研究			2	2					
		課題研究α			※1	※1					
特別活動	特別活動	未来への航海図					1	1			
		各教科・科目等計		33	33・34	33・34	33・34	33・34			
特別活動	特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	1	1				
		合計	34	34・35	34・35	34・35	34・35				
(注)											

2年次はアまたはイのセットを選択し世界史B・日本史B・地理Bから1科目を継続履修する。3年次は、2年次選択のB科目を継続履修する。

1年次の数学IIは、数学Iを履修した後に履修をする。理型2年次の数学IIIは、数学IIを履修した後に履修する。

理型I型の3年次は、2年次に選択した物理、化学、生物の演習科目2科目を継続して履修する。理型II型の3年次は、2年次に選択した物理、化学、生物の演習科目を継続して履修する。ただし、クの3科目の内2科目または1科目を選択することとする。クの科目の内1科目のみを選択した場合は、ケの科目の2科目を選択する。

音楽・美術・書道から1科目を継続履修する。

教育実践基礎は「次世代教員養成塾(前期プログラム)」における学校設定科目である。

※課題研究αは希望者による夏期休業等におけるまとめ取りである。

アから1科目選択する。イから1科目選択する。